

令和7年度宮城県・仙台市障害者ピアサポート研修（基礎研修） 募集要項

1 研修目的

自ら障害や疾病の経験を持ち、その経験を活かしながら、他の障害や疾病のある障害者と気持ちを共有し、対等な立場でともに考え、活動していくピアサポーターの養成と、そうしたピアサポーターの必要性や意義等を理解した障害福祉サービス事業所等の管理者等の養成とを図ることにより、障害福祉サービスをはじめ、社会全般における多様で豊かなピアサポート活動を育てていくことを目的とします。
基礎研修は、ピアサポートについて互いに学び、ピアサポーターとして活動していく上での基礎を身につける研修です。

2 実施主体

一般社団法人アート・インクルージョン

※ 本研修は宮城県から委託を受け、仙台市の協力のもと、実施するものです。

3 対象者

- ① 障害福祉サービス事業所、相談支援事業所等に雇用等されている障害者
なお、雇用等されている障害者は常勤・非常勤を問わず、雇用契約に基づき雇用されている方のほか、今後、雇用が見込まれる方を含むものとします。
- ② ①の方が所属する障害福祉サービス事業所等の管理者等、ピアサポーターと協働し支援を行う方
- ③ ピアサポート活動に関心のある障害者
- ④ ピアサポーターの雇用を検討している障害福祉サービス事業所等の管理者、支援者

4 受講定員

50名程度

※申込多数の場合は、受講できない場合があります。

5 研修の種類、開催日および会場

研修の種類	開催日	会 場
①基礎研修 (本研修です)	令和7年8月30日(土) 令和7年8月31日(日)	宮城県庁2階講堂
②専門研修	令和7年10月4日(土) 令和7年10月5日(日)	
③フォローアップ研修	令和8年3月21日(土) 令和8年3月22日(日)	

※受講方法としては、対面を基本としますが、諸事情により、オンラインによる受講を希望する場合には申込書にそのむねご記入ください。

6 受講料

無料

7 研修内容

別紙の研修カリキュラムを参照ください。

8 修了証書の交付、加算の取扱

全力リキュラムを修了した方には「修了証書」を交付します。

※基礎研修及び専門研修の修了を要件とするピアサポート体制加算等があります。ただし、加算等を算定する場合には研修の修了以外にも要件がありますので、詳しくは厚生労働省令・告示・通知等をご覧ください。指定権者の各自治体へお問合せください。

9 申込方法

以下のいずれかからご応募ください。

②③は別紙の申込書をお使いください。

①専用申し込みフォームから



②FAXでのお申し込み

022-797-3673

③郵送でのお申し込み

〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-8-1 4 スズキアバンティビル3階
一般社団法人アート・インクルージョン 障害者ピアサポート研修担当 あて

10 申込期限

令和7年7月25日（金）必着

11 旅費・滞在費等

受講者側の負担とします。また、昼食等は各自でご用意ください。

12 合理的配慮

障害特性により配慮が必要な場合は申し込み時にその内容をお伝えください。申込者でご相談しながら対応させていただきます。

令和7年度宮城県・仙台市障害者ピアサポート研修（基礎研修） 受講申込書

(ふりがな) お名前			
所 属			
連絡先	〒		
※書類を受け取りたい住所をお書き下さい	電話番号		
	メールアドレス		
申込区分 いずれかに○		①障害福祉サービス事業所、相談支援事業所等に雇用等されている障害者（常勤・非常勤は問わず、雇用契約に基づき雇用されている方、今後雇用が見込まれる方も含めます）	
		②①の方が所属する障害福祉サービス事業所等の管理者等、ピアサポーターと協働し支援を行う方	
		③ピアサポート活動に関心のある障害者	
		④ピアサポーターの雇用を検討している障害福祉サービス事業所等の管理者、支援者	
障害区分 (○で囲む) ※障害ある方	身体障害 ・ 知的障害 ・ 精神障害 発達障害 ・ 難病患者 ・ 高次脳機能障害		
受講に際して配慮してほしいこと	(例：手話通訳を配置してほしい)		
受講に伴い、介助者の方はいますか？ (○で囲む)	あり なし		
受講者の連携のためお名前・所属を記載した「受講者名簿」を作成します。記載してほしい名前（ニックネーム等）をお書き下さい。			
研修に参加できない方や関心のある方にも研修を見てもらうため、後日、映像を公開します。映り込みの可否を○で囲んでください。	映像に 映ってもいい ・ 映さないでほしい		

【基礎研修カリキュラム】（今回の研修内容です）

【基礎研修1日目】 8月30日(土)

科目名		時間	内容
1	オリエンテーション (40分)	10:30～11:10	・研修の目的の確認 ・アイスブレイク
休憩（10分）			
2	ピアサポートの理解 (30分)	11:20～11:50	・障害領域ごとの歴史や背景 ・障害領域ごとの視点
昼休憩（60分）			
3	演習① (60分)	12:50～13:50	・講義「ピアサポートの理解」の振り返り、気づきの共有
休憩（10分）			
4	ピアサポートの実際・事例 (70分)	14:00～15:10	・障害領域ごとのピアサポートの実践
休憩（10分）			
5	演習② (40分)	15:20～16:00	・講義「ピアサポートの実際・事例」の振り返り、気づきの共有

※休憩について：お手洗い休憩についてはプログラム中でも各自自由にお取りください。

【基礎研修2日目】 8月31日(日)

科目名		時間	内容
6	コミュニケーションの基本(40分)	10:30～11:10	・ピアサポートの視点を取り入れたコミュニケーションの技法や経験の共有
休憩（10分）			
7	演習③(60分)	11:20～12:20	・講義「コミュニケーションの基本」の振り返り、気づきの共有
昼休憩（60分）			
8	障害福祉サービスの基礎と実際(40分)	13:20～14:00	・障害福祉施策の歴史 ・障害福祉施策の仕組み
休憩（10分）			
9	演習④(20分)	14:10～14:30	・講義「障害福祉サービスの基礎と実際」の振り返り、気づきの共有
休憩（10分）			
10	ピアサポートの専門性(30分)	14:40～15:10	・ピアサポートの具体的な専門性 ・倫理と守秘義務
休憩（10分）			
11	演習⑤(50分)	15:20～16:10	・講義「ピアサポートの専門性」の振り返り、気づきの共有
休憩（10分）			
12	修了式(30分)	16:20～16:50	修了証書の交付など

【参考】専門研修とフォローアップ研修の内容（予定）

【専門研修1日目】10月4日（土）

科目名		内容
1	基礎研修の振り返り (30分)	・基礎研修の振り返り
2	ピアサポーターの基礎と専門性 (40分)	・障害特性に応じた専門性
休憩（10分）		
3	演習① (60分)	・講義「ピアサポーターの基礎と専門性」の振り返り、気づきの共有
昼休憩（60分）		
4	ピアサポートの専門性の活用 (40分)	・障害特性に応じたピアサポートの専門性を活かすための視点
休憩（10分）		
5	演習② (30分)	・講義「ピアサポートの専門性の活用」の振り返り、気づきの共有
休憩（10分）		
6	関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実践（障害者）	・関連法、関連施策
	ピアサポートを活用する技術と仕組み（事業所）	・現場におけるピアサポートの活用方法
休憩（10分）		
7	演習③（障害者）	・講義「関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実践」の振り返り、気づきの共有
	演習③（事業所）	・講義「ピアサポートを活用する技術と仕組み」の振り返り、気づきの共有
休憩（10分）		
8	演習④ (20分)	・障害者、事業所職員別講義及び演習内容についての共有

【専門研修2日目】 10月5日（日）

科目名		内容
9	ピアサポーターとしての働き方（障害者）	・ 労働法規
	ピアサポートを活かす雇用（事業所）	・ 現場におけるピアサポートの活用方法
休憩（10分）		
10	演習⑤（障害者）	・ 講義「ピアサポーターとしての働き方」の振り返り、気づきの共有
	演習⑤（事業所）	・ 講義「ピアサポートを活かす雇用」の振り返り、気づきの共有
休憩（10分）		
11	セルフマネジメントとバウンダリー (30分)	・ ピアサポーターが葛藤しやすい状況 ・ 病気や障害を抱えて働く上でのセルフケア
昼休憩（60分）		
12	演習⑥ (40分)	・ 講義「セルフマネジメントとバウンダリー」の振り返り、気づきの共有
休憩（10分）		
13	チームアプローチ (40分)	・ 所属機関（チーム）におけるピアサポーターの役割と協働における留意点
休憩（10分）		
14	演習⑦ (60分)	・ 講義「チームアプローチ」の振り返り、気づきの共有
休憩（10分）		
15	修了式 (30分)	修了証書の交付など

【フォローアップ研修１日目】 ３月２１日（土）

科目名		内容
1	専門研修の振り返り (30分)	・ 専門研修の振り返り
2	障害特性(60分)	・ 障害領域ごとの障害特性
休憩（10分）		
3	働くことの意義 (30分)	・ ピアサポーターとして職場にもたらす効果
4	演習① (60分)	・ 講義「働くことの意義」の振り返り、気づきの共有
昼休憩（60分）		
5	障害者雇用(40分)	・ 障害者雇用の実際と留意点
休憩（10分）		
6	演習② (60分)	・ 講義「障害者雇用」の振り返り、気づきの共有

【フォローアップ研修２日目】 ３月２２日（日）

科目名		内容
7	ピアサポーターとしての継続的な就労(60分)	・ ピアサポーターとしての能力を発揮し、働き続ける為に必要なポイント
休憩（10分）		
8	ピアサポーターとしての効果的なコミュニケーション (60分)	・ 職場内や関係機関との連携の中で発信力を高めることによる専門性の発揮方法
昼休憩（60分）		
9	演習③ (70分)	・ 講義「ピアサポーターとしての効果的なコミュニケーションの技法」の振り返り、気づきの共有
休憩（10分）		
10	ピアサポーターとして現場で効果的に力を発揮するための準備 (30分)	・ ピアサポーターとして雇用される上での準備、留意点
11	演習④ (40分)	・ 講義「ピアサポーターとして現場で効果的に力を発揮するための準備」の振り返り、気づきの共有
休憩（10分）		
12	修了式 (30分)	修了証書の交付など